

# 旧磐田市民文化会館等跡地利活用 ワークショップ(テーマ別)実施報告



令和8年2月  
磐田市 企画部 政策推進課

# 1. はじめに

# 1. はじめに

## (1) 本実施報告の取り扱い

- ◎ 本実施報告は、令和7年度上半期における取組の中間報告及び、令和7年12月に計4回実施した利活用ワークショップ【テーマ別】の参加者からいただいた意見・ニーズについて記載しています。
- ◎ ワークショップでいただいた意見・ニーズについては、大論点ごとに整理し、網羅的に記載しています。

## (2) 地区別・年代別ワークショップ実施結果①

ワークショップで出された意見・ニーズ（公共的な機能・視点について）

### ハード的な機能・視点

#### 地区別ワークショップ

#### 多世代交流ができる施設

- ★子どもから高齢者まで利用できる屋内運動施設
- ★子育て支援機能(子ども食堂、児童クラブ、預かり・相談など)
- ★その他の交流機能(生涯学習、農業、eスポーツ、文化・教育の発信など)

#### ①子ども関連施設(遊び場、子育て支援)

- ・雨天時の子どもの屋内遊び場
- ・子育て支援機能を持つ交流施設や預かり・送迎サービスの充実

#### ②スポーツ施設

- ・健康増進と交流を促すスポーツ施設  
(屋内スポーツ施設、プロスポーツ試合の誘致、温泉施設など)

#### ③地域資源の活用・情報発信の場

- ・地域の文化や技術を学ぶ場、企業や産業の紹介など情報発信の場

#### ④高齢者の居場所

- ・温泉、健康施設、カフェ(特に男性高齢者が参加しやすい環境整備)

#### 防災施設

- ・避難・備蓄・炊き出し機能を備えた防災施設(平常時は多目的利用)
- ・調整池やビオトープ、駐車場などを組み合わせた複合利用

#### 年代別ワークショップ

#### 多世代交流ができる施設

- ★どの世代でも居場所となる柔軟な空間設計やスペースづくり
- ★こどもから大人が学べる場

#### ①子ども関連施設(遊び場、中高生の居場所)

- ・雨や猛暑でも安全に遊べる屋内遊び場
- ・中高生の学習施設(自習室、談笑の場)

#### ②スポーツ体験施設

- ・予約不要で誰もが気軽に利用できるスポーツ施設

#### ③学びの場

- ・現代社会に必要な教育(金融教育、性教育、ネットリテラシーなど)

## (2) 地区別・年代別ワークショップ実施結果②

ワークショップで出された意見・ニーズ（公共的な機能・視点について）

分類	今之浦	中泉	見付	全地区①	全地区②	高校生・ 大学生	子育て 世代	計
多世代交流ができる施設	○	○	○	○	○	○	○	7
子ども関連施設 (遊び場、子育て支援)	○	○			○	○	○	5
スポーツ・体験施設	○			○		○	○	4
地域資源(産業・文化・学び等) の活用・情報発信の場		○	○		○	○		4
高齢者の居場所		○						1
防災施設	○		○	○				3

### (3) オンラインプラットフォームでの意見聴取結果

オンラインプラットフォームで出された意見・ニーズ（公共的な機能・視点について）

分類	内容	計
子どもの居場所と子育て支援	室内遊び場(30)、体験型施設(13)、子育て支援センター(4)、児童館(2)、教育連携施設(1) ほか	54
学びと教育機会	図書館(17)、学習スペース(5)、科学館(3)、ワークショップ施設(2)、農業教育施設(1) ほか	37
スポーツ・娯楽・体験施設	屋内スポーツ施設(16)、体験型アクティビティ(7)、スケートリンク(3)、アミューズメント施設(3)、映画館(2) ほか	33
防災・安心拠点	避難所(11)、防災公園(2)、ヘリポート(2)、車内避難スペース(2)、地下貯水槽(1)	18
多世代交流と世代間継承	交流センター(13)、ボランティア活動支援(2)、地域参加促進施設(1)	16
自然・緑と癒しの空間	緑豊かな公園(9)、屋根付き公園(2)、池のある公園(1)、散歩道(1)、グランピング施設(1)	14
高齢者の居場所と健康促進	健康促進施設(2)、医療施設(2)、憩いの場(1)、福祉施設(1)、高齢者住宅(1)	7

【アイデア総数】 179件 ※10月20日(月)現在

#### (4)ここまでの意見聴取のまとめ①

ここまでの意見聴取のまとめ(テーマ別ワークショップの前提条件)

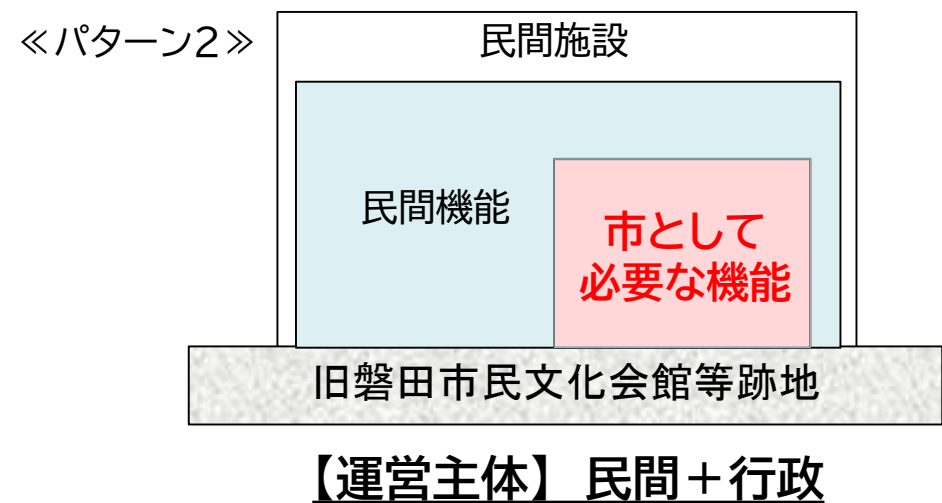
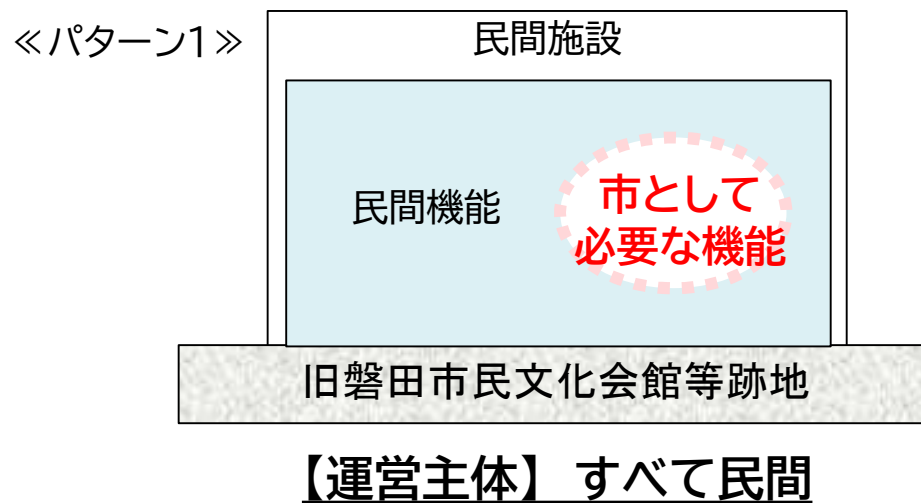
- 将来にわたって持続的な利活用をするためには、民間事業者との共創により、市の財政負担は最小限に抑えつつ、**施設(ハード)を整備するニーズが高かった**ため、PPP(Public Private Partnership:**公民連携**)の手法により、原則**全てを民間事業者が担う**ことを前提に、施設(ハード)整備を目指す。
- 整備する施設には、市民の意見・ニーズをもとに、**「市として必要な機能」**を持たせることを利活用方針へ位置付ける。
- 「公共(市)として必要な機能」について、これまでの取組でいただいた意見から共通してニーズが高かった**「多世代交流」**をベースとして、以下の2テーマについて、議論を深めていく。

**「①子ども関連の施設・機能」 「②スポーツ関連の施設・機能」**

## (4)ここまでの意見聴取のまとめ②

基本方針の策定へ向けて(想定)

○「市として必要な機能(市民ニーズが高い機能)」の導入手法については次の2パターンのいずれかを想定している。



○「市として必要な機能(市民ニーズが高い機能)」の実現に向けた提案を民間事業者からしてもらうため、利活用方針に市民の皆さんの意見・ニーズを反映していく。

## 2. ワークショップ開催概要

## 2. ワークショップ開催概要

### (1) テーマ別ワークショップの進め方

テーマ別ワークショップでは、利活用方針への反映を念頭に、

**現在の磐田市全体を見渡した際に、どのような「機能」や「サービス」が不足しているか、より充実させたいかを洗い出すことを目的としました**

#### 【議論の視点】

- ◎ 市内に今ある〇〇だと、△△がもの足りないから、こんな機能がほしい
- ◎ 課題感⇒自分事 こういった機能があればできた時に使うかな
- ◎ こういったサービスがあれば、今の生活がより豊かになりそう

## (2) 開催日時・対象・会場・参加人数

計4回開催し、延べ23名にご参加いただきました。

No.	日時	対象	会場	参加人数
①	12月7日(日) 13:00~15:00	子ども関連の 施設・機能①	磐田市役所本庁舎大会議室	7名
②	12月7日(日) 16:00~18:00	スポーツ関連の 施設・機能①	磐田市役所本庁舎大会議室	4名
③	12月14日(日) 9:30~11:30	スポーツ関連の 施設・機能②	磐田市役所西庁舎304・305会議室	3名
④	12月14日(日) 13:30~15:30	子ども関連の 施設・機能②	磐田市役所西庁舎304・305会議室	9名

※市内在住・在勤・在学の方を対象としました。

### (3) 当日の流れ

時間(分)	項目	内容
0:00~0:20	開会・事務局説明	令和7年度上半期における取組の中間報告
0:20~0:40	ファシリテーター説明	ワークショップの進め方について説明、事例紹介
0:40~1:40	ワークショップ	OST(オープン空間-テクノロジー-)方式によるワークショップ
1:40~1:55	ワークシート作成	ワークショップの内容を踏まえて、個人ごとにワークシートを作成し記録に残す
1:55~2:00	振り返り会・閉会	出た意見のまとめ

※時間は目安です。

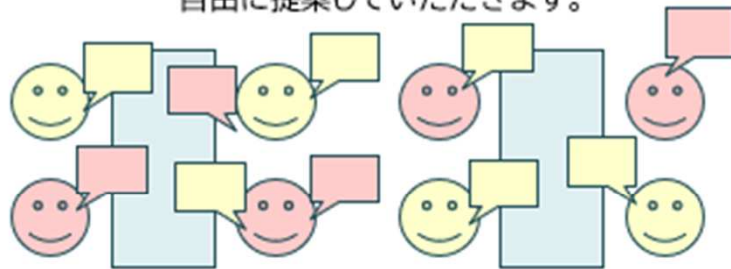
※ファシリテーターは、株式会社Liquitous 代表取締役 栗本 拓幸 氏らが担当しました。  
 オンラインプラットフォーム「磐田のくらしラボ」の運営を依頼している企業であり、オンライン、対面双方のメリットを活かして、旧磐田市民文化会館等跡地利活用に係る意見聴取・集約の支援をいただいています。

## (4) ワークショップの手法

OST(オープンスペーステクノロジー)方式という手法で実施しました。

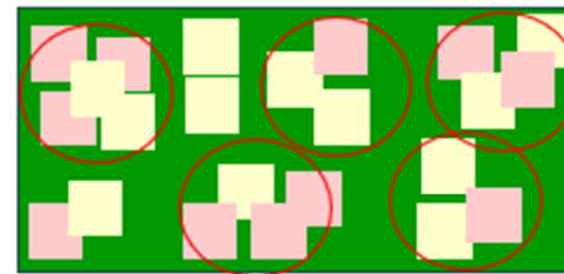
### 【STEP1】 深掘りしたい内容の募集

それぞれのテーマに沿って「今日、話したかったこと」  
「今話したいこと」を付箋に書き出して、  
自由に提案していただきます。



### 【STEP2】 集約・トークテーマ設定

提案いただいた内容を集約・分類して、  
話し合いたいトークテーマを設定します。

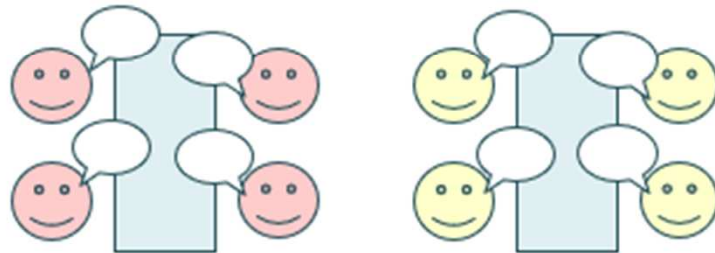


トークテーマ候補

- ① ○○○○○
- ② △△△△
- ③ □□□□
- ④ ☆☆☆☆

### 【STEP3】 トークテーマに沿って対話

グループごとトークテーマに沿って  
「叶ったら嬉しいこと」など自由に発言をしていただきます。



### 【STEP4】 個人ごとワークシートを作成

話し合った内容を踏まえて、  
個人ごとワークシートを作成して形に残す

タイトル：○○○○○○○○○○について

叶えたい「妄想」の概要

妄想が叶うと、 平日には 誰がどんなふう に使っているイメージ？	妄想が叶うと、 休日には 誰がどんなふう に使っているイメージ？
-------------------------------------------	-------------------------------------------

1. 妄想のタイトルを書く
2. 妄想を下記3つに分解して書いてみよう
  - 妄想の概要
  - 妄想が叶った時の
    - ① 平日のイメージ
    - ② 休日のイメージ

# 3. ワークショップの詳細

# 3. ワークショップの詳細

## (1) テーマ:子ども関連の施設・機能

【参加人数】 延べ16名 (30代:7名、40代:3名、50代:2名、60代:2名、70代:2名)

<p><b>① みんなが安心して集まれる「居場所」づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多世代が自然に交流することができる場所をつくる</li> <li>大きなイベントではなく、普段から立ち寄れる空間にする</li> <li>趣味・食事・学びなど共通のテーマでつながる工夫</li> <li>いつも誰かの声が聞こえる場 = 誰がいてもいい空間</li> </ul>	<p><b>⑤ 子どもや若者の学びと体験の場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業との連携で昼間に安心して過ごせる小さな拠点をつくる</li> <li>学生や退職教員が学習や体験活動をサポート</li> <li>時代の流れを反映し、中身（プログラム）を重視した体験活動</li> <li>放課後の預かりや学習支援の仕組み</li> </ul>
<p><b>② 子どもをみんなで見守る安心の仕組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と人をつなぐコーディネーターやサポーターの設置</li> <li>子どもが主人公として「思い出に残る」場所をつくる</li> <li>子どものやりたいことなど、子どもの声を聞きながら運営をしていく</li> <li>利用人数や満足度を見える化し、改善につなげる</li> </ul>	<p><b>⑥ 将来の人材を育てる学びと挑戦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人でも気軽に発表・展示ができるスペースを用意</li> <li>ものづくりや音楽などの表現ができる場所</li> <li>先端分野と連携し、起業・スタートアップにつながる仕掛け</li> <li>子どものアイデアを企業とつなぐ仕組み</li> </ul>
<p><b>③ 暑い夏でも安心して体を動かせる環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天候に左右されない屋内型の遊び場を設置</li> <li>屋内で走ったり跳んだりできる運動スペースを確保</li> <li>ミストや水あそびなど、プールに代わる工夫があり夏休み中も開放</li> </ul>	<p><b>⑦ 農業体験など地域資源を生かした交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みかん狩りや野菜づくりなど季節体験を実施</li> <li>近隣の農業高校などと協力し学びの機会を提供する</li> <li>収穫物の販売や地域に届ける取組を行う</li> </ul>
<p><b>④ 近隣の既存施設と連携したふらっと立ち寄れる場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自習ができるスペースや親子休憩スペースの常設</li> <li>駄菓子コーナーなど気軽に立ち寄れる工夫</li> <li>駅前や商業施設と連携し、持続可能な運営を目指す</li> <li>子どもが磐田市のことを知ることができる場づくり</li> </ul>	<p><b>⑧ 子育てしやすい環境の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子の準備負担を軽減することで育児の心理的負担を軽減</li> <li>気軽に食事が手配できたり、飲み物などを購入できる場</li> <li>カフェなど親もほっとできる機能を併設</li> <li>利便的な交通アクセスや避難経路を検討</li> </ul>

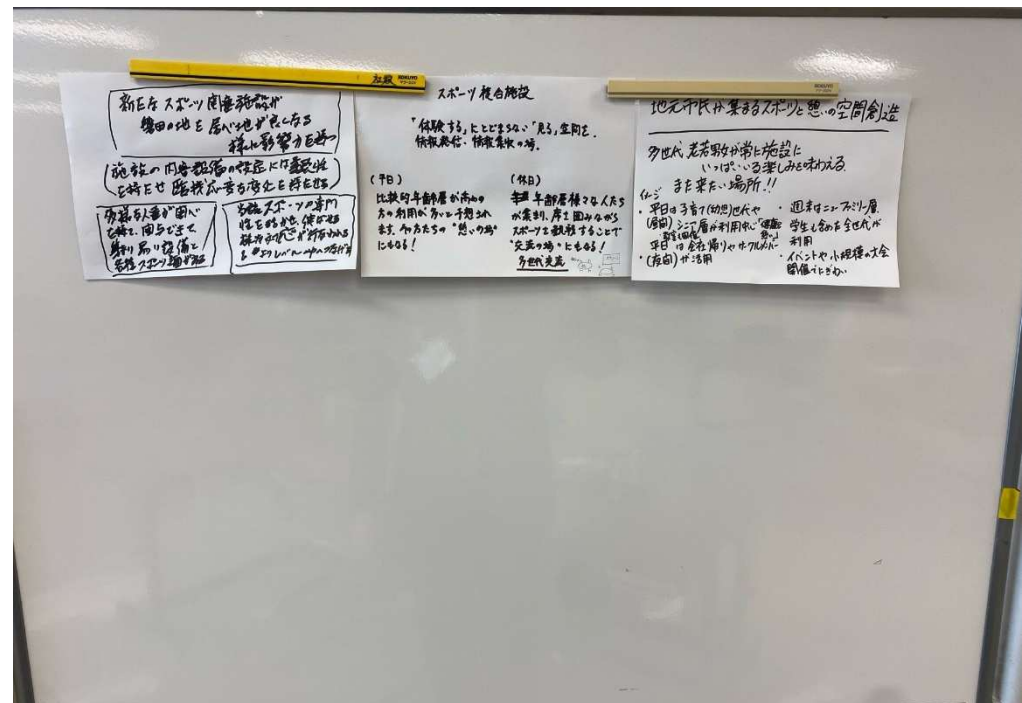
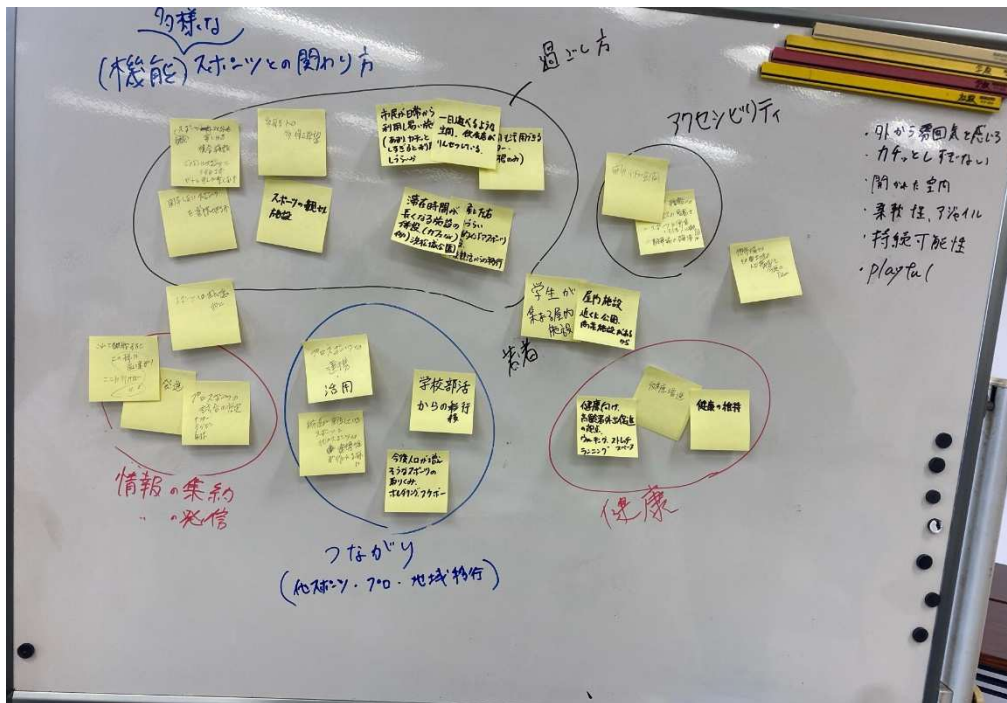
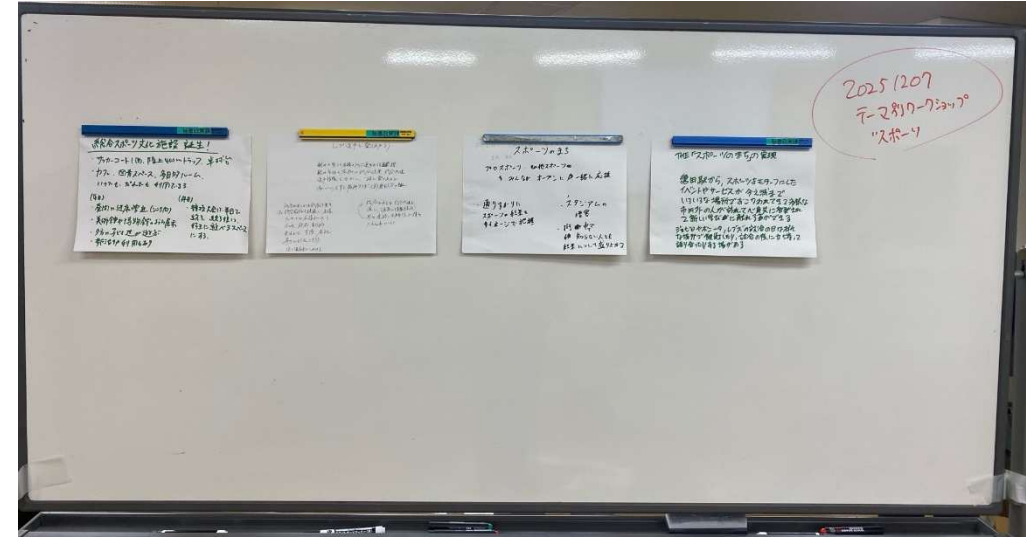
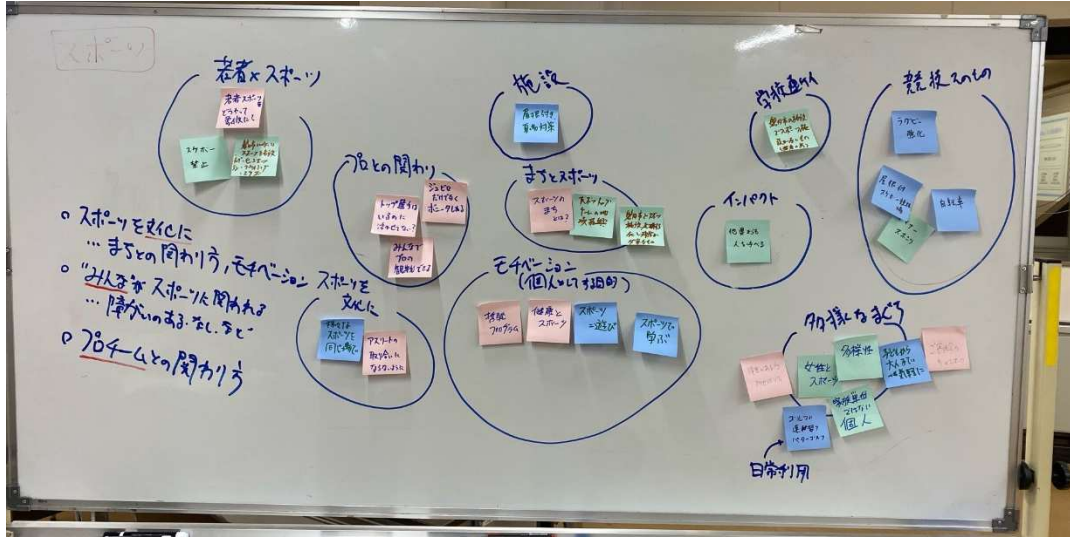


## (2) テーマ:スポーツ関連の施設・機能

【参加人数】 延べ7名 (20代:1名、40代:1名、50代:1名、60代:2名、70代:1名、80代:1名)

<p><b>① スポーツを磐田市民「みんなの文化」へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トップ選手と一緒に、市全体でスポーツを盛り上げる機運づくり</li> <li>• 試合情報の発信などによる街ぐるみで応援する雰囲気づくり</li> <li>• プロスポーツ以外の地域スポーツの認知度向上</li> </ul>	<p><b>④ 女性や親子が主役になれるスポーツ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性がプレイヤーとして参加できる企画</li> <li>• 親子で一緒に楽しめるプログラム</li> <li>• 更年期など女性特有の健康をテーマにした催しの開催</li> <li>• 女性が「保護者」としてではなく、主体的に関われる機会の提供</li> </ul>
<p><b>② まち全体でスポーツを応援できる仕掛け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多世代が集ってパブリックビューイングが開催できる場</li> <li>• 旗や展示で街をチームカラーに染める</li> <li>• 飲食店も巻き込んだ応援企画</li> <li>• 多様なスポーツをインターネット配信で紹介</li> </ul>	<p><b>⑤ スポーツや文化に触れることができる場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• サッカー、卓球、eスポーツなど多くのスポーツに触れられる場</li> <li>• カフェや図書スペースを併設</li> <li>• 美術展やイベントも開催可能にする</li> <li>• 世代を超えて使用できるスポーツ拠点づくり</li> </ul>
<p><b>③ 誰もが参加できるスポーツ環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 障がいの有無に関わらず楽しめるイベント開催や施設整備</li> <li>• 毎月・毎週など継続的な開催</li> <li>• 高齢者・働く世代も気軽に参加できる仕掛け</li> </ul>	

## (2) テーマ: スポーツ関連の施設・機能



(3) ワークショップの様子 (写真を加工しています)



# 4.まとめ

## 4. まとめ

- ◎ テーマごとに、現在の磐田市全体を見渡した際に、どのような「機能」や「サービス」が不足しているか、より充実させたいと感じているかについて、多くの意見・ニーズをお伺いすることができました。
- ◎ 各テーマに関心をお持ちの方をはじめ、テーマに関係する当事者(子育て中の保護者やスポーツ指導者等)にもご参加いただいたことで、より具体的なご意見を伺うことができました。
- ◎ 多く挙げられたニーズは以下のとおりです。
  - ・ **子どもが屋内で安全に遊べる場**
  - ・ **将来を見据えた学びや体験機会の充実**
  - ・ **近隣の既存施設と調和した多世代の居場所**
  - ・ **まち全体でスポーツを盛り上げる機運づくり**
- ◎ 本ワークショップを含め、令和7年度に計11回開催したワークショップとオンラインプラットフォームでいただいた意見・ニーズを集約・分析した上で、特にニーズが高かった内容について、今後、庁内で協議した上で、今年度末までに公表する予定の「旧磐田市民文化会館等跡地利活用基本方針」へ反映していく予定です。